

アブラムシ の仲間

ストロー状の口で植物の葉や枝から師管液を吸う。ほとんどの種は依存する植物(寄主)が限られているが、途中で寄主植物を替える種もある。その場合は翅の付いた虫(有翅型)が生まれ、これが移動する。寄主移動しない種でも過密になったりすると有翅型が生まれる。普段は雌だけで単為胎生生殖で仔虫を産み増殖する。晩秋に雄が生まれ交尾して越冬卵を産む。体長は1～4mm程度。



ギシギシアブラムシ

アブラムシ科

春、ギシギシの仲間の茎にぎっしりとつく。



マメアブラムシ

アブラムシ科

体が黒色で、カラスノエンドウなどのマメ科植物にぎっしりとつく。



ソラマメヒゲナガアブラムシ

アブラムシ科

体が緑色で、カラスノエンドウなどのマメ科植物にぎっしりとつく。



セイトカアワダチソウヒゲナガアブラムシ

アブラムシ科

体が赤色で、セイトカアワダチソウの茎の上部につく。北アメリカ原産の外来種。



ヘクソカズラヒゲナガアブラムシ

アブラムシ科

体は橙色で、ヘクソカズラの蔓や葉裏につく。